

学校教育目標	「まちに生き、自分で自分の生き方を切り拓いていける人」			
	○自ら学び考え、意欲的に学習に取り組む人を育てます。【知】 ○自分や他人の生命を尊重し、大切にできる人を育てます【徳】 ○自ら健康を保持増進できる人を育てます【体】 ○自律心を持ち、自ら進んで、社会の発展に貢献していく人を育てます。【公】 ○広い視野を持ち、積極的に未来を創り出す人を育てます。【開】			
学校概要	創立 3 周年	学校長 藤 至光	副校長 鈴木 博道	2 学期制 一般学級：16 個別支援学級：4
	児童生徒数： 587 人 主な関係校：丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	丸山台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力 (自立のための基礎力)	丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校	○いつも元氣よく、相手や場に応じたあいさつができる子ども ○自他の良さを認め、人とのつながりやかかわりを大切にすることも ○主体的に学習に取り組み、学んだことを生活に生かそうとする子ども ○積極的に地域社会にかかわろうとする子ども 小中の連携を深め、授業方向上を目指して ・授業参観および研究協議の機会を年2回設定します。 ・担当者会議を年4回設定します。 ・小中職員が一堂に会する合同研修会を年1回設定します。

中期取組目標	○カリキュラムマネジメントを通じて、「想像する力」と「やりとげる力」を身に付けさせるとともに、生徒一人ひとりが充実感を味わうことができる教育活動を展開し、学校教育目標の実現を目指します。 ○各教科の全体構想や教科横断的な視点を持ち、学習の基盤を築きます。 ○一人ひとりが多様性を尊重し、自分のよさや可能性を認識できる自己肯定感を育みます。 ○自己の生活の振り返りと改善を図り、健康的な生活習慣を送るための課題解決力を育成します。 ○開かれた学校、地域で育つ学校を目指し、小中・家庭・地域連携を推進し、生涯にわたって、生きてはたらく資質・能力を育成します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①研究テーマをもとに各教科が年間を通して視点を明確にした研究を行い、「授業力の向上」を図ります。校内研究授業を実施し、研究の実践と評価を行います。 ②基礎基本の定着を目指し、各教科で個に応じた指導の充実を図ります。 ③生徒が主体的に取り組むために、グループワークなどの対話的な活動を積極的に取り入れます。
担当 研究研修部・学習指導部	
徳 人権教育	①SDGsについて詳しく学び、ユニセフ募金に協力することで、持続可能な社会実現に向けて取り組みます。 ②挨拶運動(あい3Day)を毎月行い、コミュニケーションを充実させることで他者を認める力を育みます。 ③道徳の授業形態や、授業の進め方の工夫、研究を進め、多様性を尊重し、自己肯定感をもてる生徒の育成に努めます。
担当 特活指導部・学習指導部	
体 健康教育	①学校保健委員会や活動委員会を通して心身の健康について学習し、健康的な生活習慣を送るための課題解決力を育みます。 ②体育的行事や授業などを通して、体力づくりに励めるような取組を行い、自己の体力状況を分析し、体力向上に向けて課題を設定し実践する資質・能力の育成に努めます。
担当 健康安全指導部・体育的行事委員会	
公 開 キャリア教育	①職業調べとその展示見学、進路学習などを通して将来の事を見据え、先を見通す力を育みます。 ②職場体験や調査から得た情報を観点に合わせて整理したり分類したりして、課題に対する考えを広げます。 ③地域のために力を尽くす人の思いに共感し、地域の中で自分ができることを実行しようとする意欲を育てます。
担当 学習指導部・特活指導部	
いじめへの対応	①いじめ防止基本方針のもとに、定期的な教育相談とアンケートを実施し、いじめの未然防止に努めます。 ②いじめの事案が発生した際は、迅速かつ組織的な対応で、解決と再発防止に努めます。 ③学校評価アンケートや生活アンケートなどの調査結果をもとに、指導の振り返りや研修等を行い、教職員の資質や専門性を高めます。
担当 生徒指導部・生徒指導専任	
人材育成・組織運営(働き方)	①経験年数の浅い教諭が抱える様々な疑問や課題を解決し、教育実践に生かすことができるよう各分野のリーダーによる研修の充実を図り、学校運営に積極的に関わっていくことのできる人材を育成します。 ②働き方改革の観点から、組織や業務内容の見直しに取り組み、組織力を高めます。
担当 教務部・メンター育成	
特別支援教育	①「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を中心に、生徒の教育的ニーズに合わせた一貫した支援を行います。②特別支援教室の充実に努め、利用生徒の在籍学級での支援に役立ちます。
担当 特別支援委員会	
地域連携 学校運営協議会	①連絡手段を整備するとともに、学校行事や個人面談等を通して、学校と家庭との連携を図ります。 ②令和4年度に学校運営協議会を設置し、小中・家庭・地域連携を推進します。
担当 教務部・生徒指導専任	
生徒理解	①年3回の教育相談日を設け、生徒の相談環境を整えます。また生徒指導事案やきまりについて検討し、チームで組織的な生徒指導が行える体制を整え対応します。 ②月1回のアンケートを実施し、生徒の実態をすぐに把握できるように努めます。 ③班長会やGWTを通じて自治活動のできる集団を育てます。
担当 生徒指導部	
教育環境整備	①オンライン授業の環境を整えるため、日々の授業などからICT端末を利用する機会を設けます。 ②学習相談や長期休業中の補習を充実させ、生徒の学力向上のために支援します。 ③生徒が安心かつ落ち着いて活動に取り組める環境を整えます。
担当 学習指導部・事務部	